



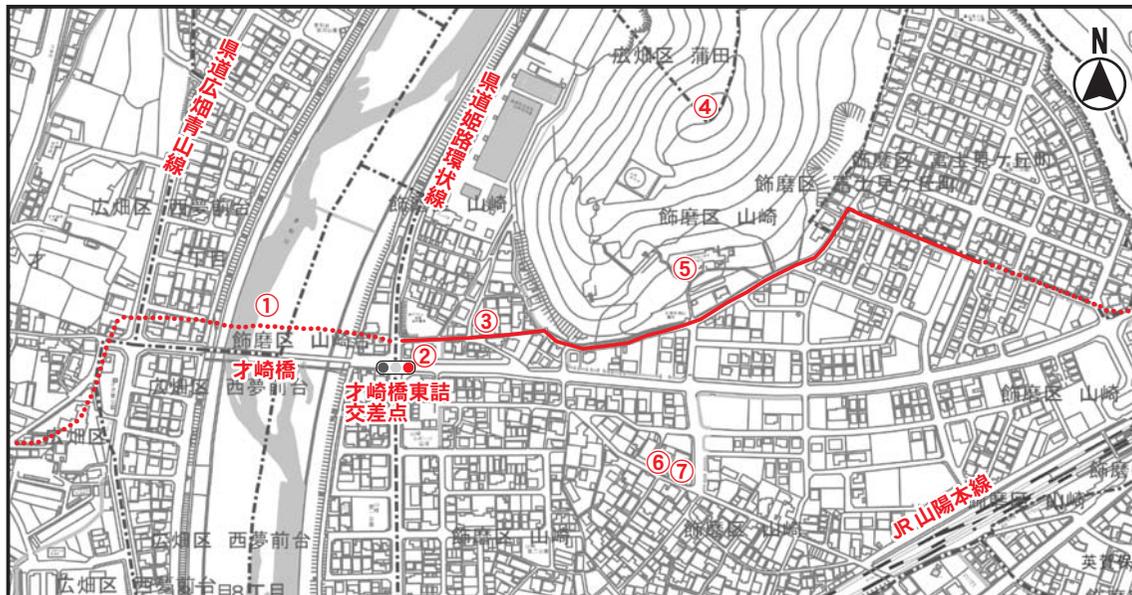
## 『室街道』をたずねて その2

&lt;図1&gt;

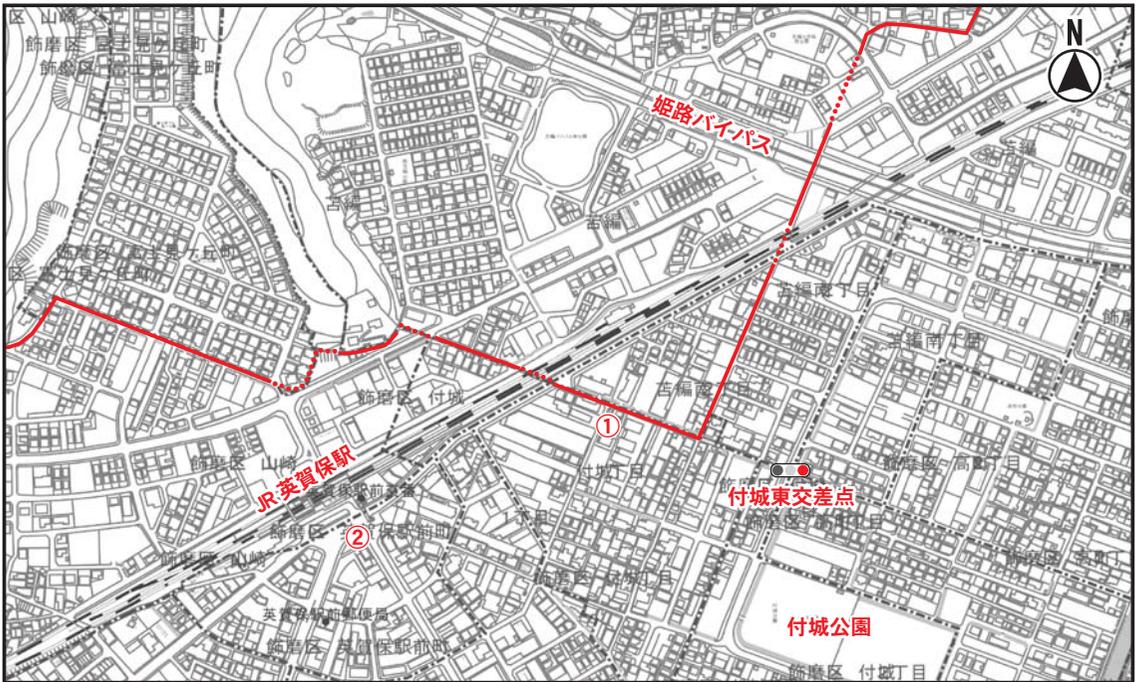


①犬塚(性空上人建立の満乗寺(現則直の専修寺(庵)付近)の賢犬の塚という) ②天保9年(1838)道標(正面:左あほしむろつ道、左側面:右びぜんたつの道、右側面:天保九戊戌年、背面:しよしやひめ口口) ③徳圓寺(浄土真宗本願寺派、永禄2年(1559)建立、正徳2年(1712)木仏寺号、伏龍学校創立岡田恢應頌徳碑) ④旧室津街道札場跡標柱 ⑤才天満神社(才の鎮守、旧村社格、寛政5年手洗石(1793)、文政4年狛犬(1821)、文政4年・文政6年(1823)・文政12年(1829)石燈籠一対、安政6年(1859)石鳥居、慶応2年(1866)石造神牛、力石6箇、七ツ石) ⑥水光大神(湧水井坪が神格化したものという) ⑦才の地蔵尊(天保2年(1831)石仏刻経塔、背面に天保11年(1840)石標) ⑧随応寺(臨済宗妙心寺派、貞享3年(1686)建立(盤珪国師開基)、才村構居(才城)跡という)

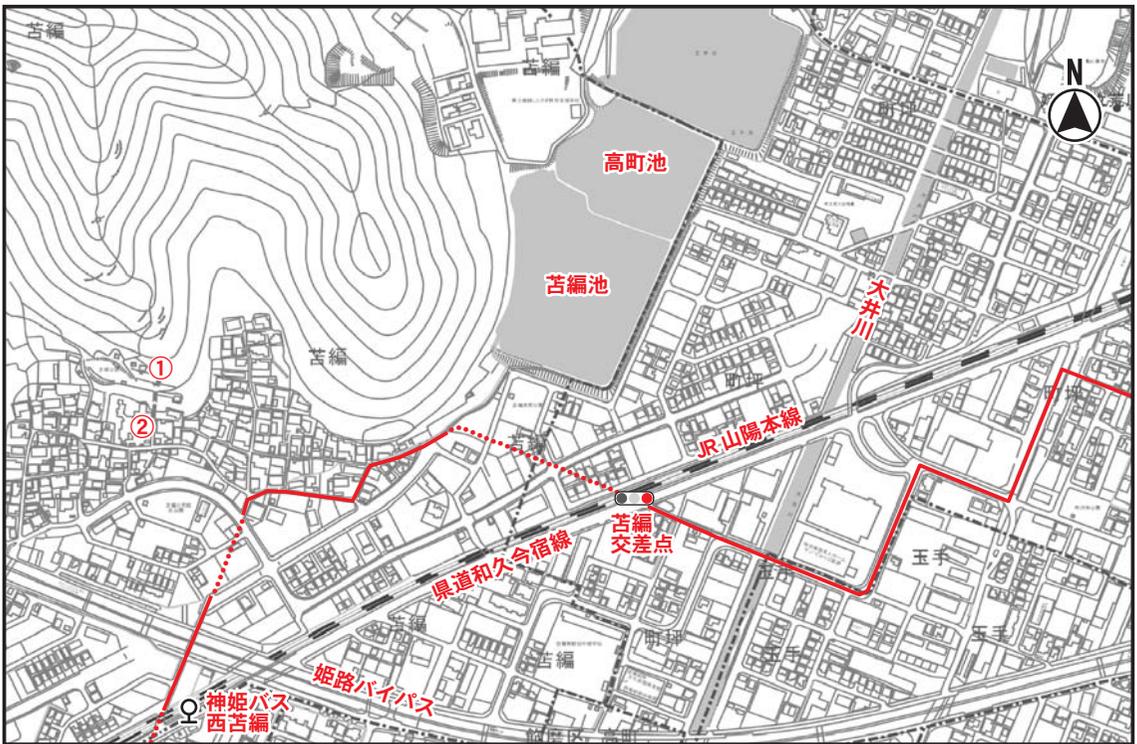
&lt;図2&gt;



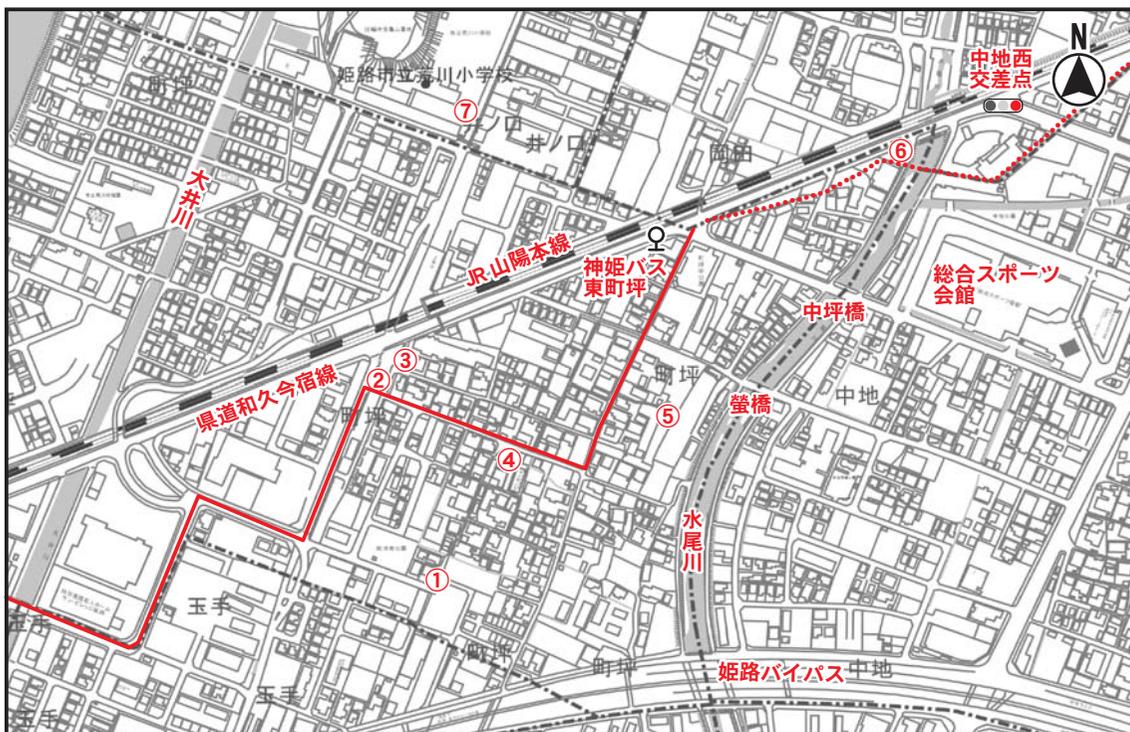
①才の渡し場跡(夢前川は主に徒歩渡し、才は相給地でこれより西は姫路藩領外となり対岸の姫路藩領山崎から室津へは室津往還役で荷物・文書を送った) ②弘化3年(1846)山崎の常夜燈(琴平常夜燈、北西約12mに旧位置)・御大典記念道標 ③昭和3年御大典記念道標 ④山崎の構跡推定地 ⑤亀山本徳寺廟所(西のお山) ⑥西山參道石柱 ⑦西蓮寺(真宗大谷派、元和4年(1618)誓祐開基)



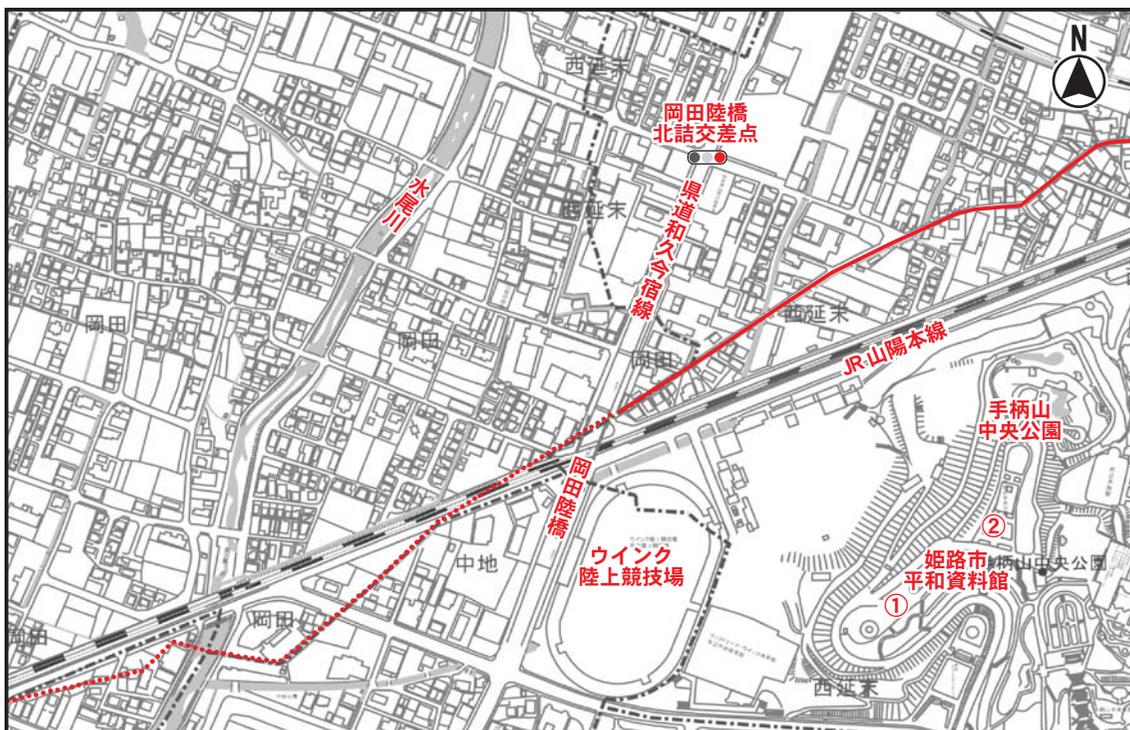
①付城の地蔵堂（まげず地蔵、関門西堀之跡碑） ②昭和3年御大典記念道標



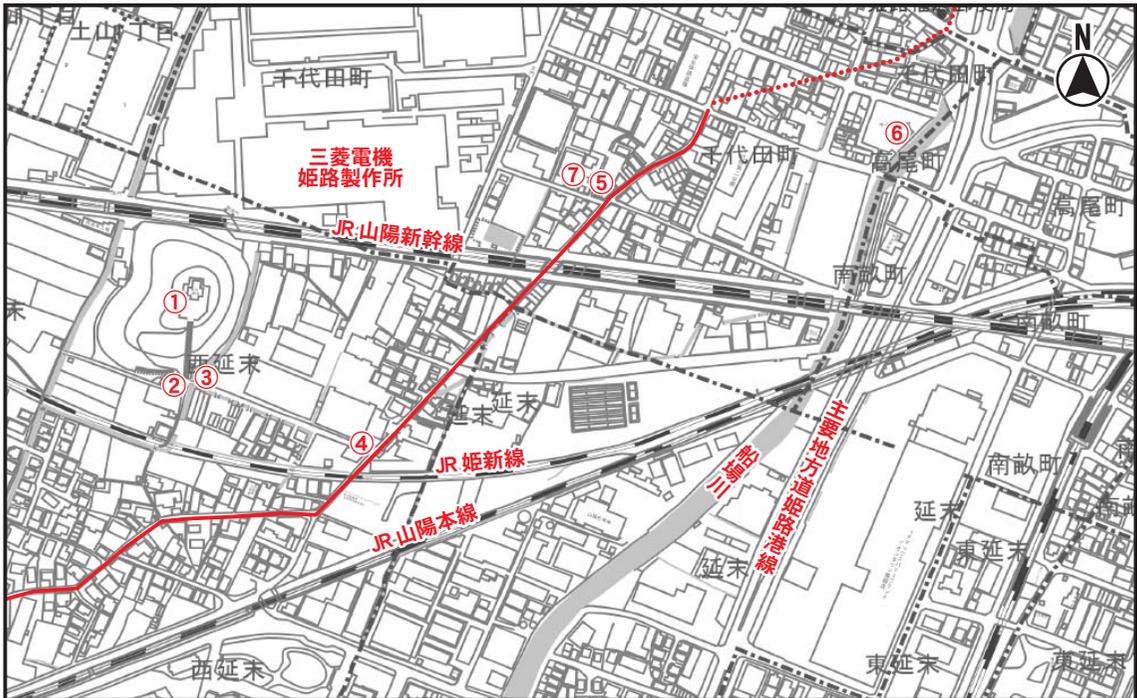
①苦道国主神社（苦編の鎮守、旧村社格、宝永4年（1707）社殿改築に際し主神苦道大神に太田より菅原大神、英賀より春日大神を勧請併祀という） ②興宗寺（真宗大谷派、永禄11年（1568）英賀の木村則澄が居宅を寺院とし天正8年（1580）秀吉の英賀攻めの後、現在地に移転という）



①五輪塔群（もとは約50m北の町坪構居跡南西隅という位置にあった）②慶応2年(1866)石燈籠 ③②を仮移設  
④町坪構居跡推定地 ⑤床浦稲荷（東側は町坪構居の堀跡という）⑥高清水と地藏堂 ⑦荒川村道路元標



①手柄山（「播磨国風土記」飾磨郡伊和里条の手刈丘に比定、手柄山附近には縄文・弥生遺跡、山頂に10基程度の古墳、手柄山構居跡推定地、江戸時代手柄山麓に手柄山刀匠氏繁屋敷があったという）②太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔（1956 建立）



①青山神社(元禄 14 年(1701)姫路藩主本多政武建立、元禄 14 年(1701)手洗石、元禄 15 年(1702)・元禄 17 年(1704)の石燈籠、青山は「播磨国風土記」飾磨郡伊和里条の青山に比定、) ②地蔵堂(慶応 3 年(1867)西国三十三所一番台座、西側に変身龍王碑) ③猿田彦命 ④明治 31 年青山神社石鳥居 ⑤あぼしみち道標 ⑥慶応 4 年(1868)千代田町の石燈籠(台座道標「あぼしむろつみち」、公園北方の水路脇が旧位置という) ⑦福繁稲荷大明神



①藤森家住宅 ②姫路船場別院本徳寺(真宗大谷派、元和 4 年(1618)創建、本堂・表門附元禄 9 年石燈籠一對・鐘樓・大玄関は市指定文化財) ③亀の甲堰跡 ④姫路藩勤王志士終焉地碑 ⑤武徳殿跡(姫路藩牢屋敷跡に明治 40 年建立) ⑥姫路城備前門(福中門)跡 ⑦坂元町稲荷 ⑧西福寺跡(天正年間総社付近より当地移転、池田輝政本堂建立という、浄土宗) ⑨光明寺(姫路城下町建設の際に飾磨津より当地移転、浄土宗) ⑩中之島地藏尊 ⑪光源寺(浄土真宗本願寺派、延徳 3 年(1491)開創、播磨六坊の一つ、昭和 30 年白銀町から当地移転) ⑫十二所神社(安元元年(1175)南畝より当地移転という、摂社お菊神社) ⑬姫路藩家老本多家下屋敷跡(竊楽園跡) ⑭姫路城飾磨門跡